

ずいそう／一題

早婚

あれこれ

青木重雄

『早婚はやり』は、どうやら今

日の世界的傾向らしく、アメリカ

では十七才の少女六人のうち一人

がミセスだし、十九才の四十パー

セントが亭主持ち、西ドイツの娘

さんは、五人に一人が、二十一才

以下で結婚している。イギリスで

も十八才以下の花よめが、一九四

〇年代には全体の二・二パーセン

トだったものが、一九五八年には

四・四パーセントにふえている。

先般来日したアメリカのロバート

・ケネディ氏も一九才で十六才の

エセル夫人と結婚、七人のことども

持つた。とにかく、近ごろのこと

もは肉体的にも精神的にも早熟に

なつてきているから、結婚するの

は当然の成りゆきということだろ

うが、何事もよい面があれば、片

方には悪い面があるので、いく

ら若い世代が「いかなる核兵器や

イデオロギーといえども、愛情に

もとすく両性の結合をはばむこと

はできない」とりきんでも、困

つた問題もかなり出てきているよ

うだ。

アメリカでは、学業年齢と結婚年齢の一致が、大きな社会問題の一につながっているし、イギリスでは、早婚夫婦の欠点として、りつは家庭作りの責任感が缺けてい

ること、経済的基礎が弱いこと、享楽主義的傾向に走りやすいこと

などがあげられ、また住宅不足や

収入不相応な家具などを買うこと

などの悩みが問題となつていて。

こうきくと、昔と同様今日でも、

ただ『ホレタ、ハレタ』だけでは

満足な結婚生活はいとなめぬとい

うわけにならう。

そのためか、歐米諸国より所得の少ないわが国では、一時はやつた『早婚ブーム』もやつと落着いた感じで、年々初婚年齢も上昇気味……男二十七才、女二十四才とい

う現状である。これ以上結婚年齢が遅れると、戦前とあまり変わらぬことになりそうだ。このため男女の結婚の内容までが、昔風の形式主義的なものに戻つては困りものだが、早婚ブームの少々浮わついた考え方が落ち着きを戻して『堅実』になつてきることは、認められてよいだろう。

以上は、わが国の結婚の現状報告だが、といつても、私は決して

早婚が悪いとか、早婚組にブレー

キをかけようとしたわけではない

私自身も、昔は一日も早く意中の女性と一諸になりたい、と内心大いに悶えた一人なのだ。ところが

戦前は今日ほど一般の理解も乏し

かつたし、第一世の中が何もかも

ノンビリときていた。あせつて

結婚するより、ます恋愛に浮き身

をやつすか、一部の連中は赤線

の女でセックスを満足させるか、

ヤセがまん?を云つて『女嫌い』

のようなフリをするかーどの青年

も、これからの中の一つに自分

の性を賭けたものだ。行く手に兵隊という、若い男にとつては宿命

的な難題が待つていてことも、私

たちの対女性観を複雑にしていた
へタな恋愛をして「めめ（女々）
しい奴だ」と笑われたくないとい
つた、今日の青年には理解されそ
うもない軍国主義ムードが、すべ
ての青年の周囲に漂っていたこと
も否定できない。

だが、私の専門学校時代のクラ
スマートにも二十一才すでに美
しいメツチエント学生結婚をして
いた幸福者がいた。二人は神戸の
Y.M.C.A.で劇をやって結ばれ
たのだが、全く似合いの夫婦で、
同級生一同を大いにうらやませた
ものだった。性の悩みもなく？一
緒に勉強し、芝居をしている二人
の姿に私たちはどれだけ憧れたも
のか！恐らく現代なら私自身、何
のためらいもなく当時の恋人と結
ばれていたことだろう。

こう考えると、早婚組に水をさ
すどころか、大いに早婚賛成と両
手をあげたい。ところが、今日の
早婚組の中には、早婚ブームとい
う流行現象にただ溺れたマネごと
から、いたつて安易で、そのうえ
享楽的で、手垢によれていてと
いった迎合派が案外多いのではないか
と思うと、どうも素直に賛成
できぬ気もしてくる。反発心まで
おぼえるのも、あながち私の現在
の年齢からだけでもなさそうだ。
こんなことをいうと若い人々から
非難されそうだが、実感だから仕

方がない。そこで「現代の若者よ
うに早婚すべし。ただ、他人が
やるからといった流行心理だけで
やるのなら、早婚すべからず」—
この矛盾した言い方が、私のいつ
わらぬ今日の早婚への「本音」で
あり、同時に心からの「忠告」で
もあることを、白状せぬわけには
ゆかない。

（神戸新聞論説委員）

マドリッドの 羊料理

鳴居玲

私は余り食物には特別興味を示
さないが、気に入ると朝から晩ま
で同じ物を一ヶ月程続ける習慣が
ある。又砂糖と塩を間違えたりす
るし、適当に日本の男性を使い分
けたりする人間だから、この「結
婚特集号」にとうてい登場出来る
ような人物ではありません。

だから外国で特別食物に思出は
ないが、パリでレモンをしほって
かけて食べた蠣の味だけは今でも

忘れない。それとスペインの
マドリッドに行った時、フランリと
飛び込んだホテルとは名ばかりの
宿で、その下の階はフラメンコの
学校、若い娘さん達がカスタネッ
トに合せてレッスンをしている
その響きを聞き乍ら食堂に入った
やがて肉の料理が運ばれたが、例
のスペイン語は機関銃のようでど
うも料理の説明をしているらしい
が何の肉か判らない。フランス語
も英語も生憎その給仕のマダムに
は通じない、そこでお手のもの
絵を描く事にした。牛を描く、「
ノン」豚、「ノン」馬、「ノン」
魚、「ノン」少々私は慌てて來
た。羽ばたくまねをして鳥か？と
聞いても違うらしく。その中に
相手が床を「ヨコヨコ」とう格
好をし、手と体をくねらせて、「
ケエケエ……」とスペイン語で鳴
いた。蛇は鳴くはずはない、さて
は蛙か、何を食べさせられるのか
大へんな事になつたと覺悟を決め
たが、出来たのは羊だった。羊
がケエケエ……と鳴くとは全くあ
わてさせるにも程があると二人共
胸をなで下したが、今でも肉屋の
前を通る度に、フトスペインの肥
つた食堂のマダムの姿を思出す。

（洋画家）



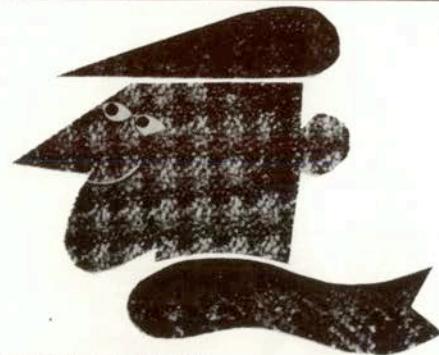
センスあふれる

べっ甲の専門店

元町一丁目

太田籠甲店

③ 6195



高級紳士服専門店 (神戸クーポン歓迎)

オーダーメード・イージーオーダー・レディメード

神戸テラーラ

生田区北長狭通2 (省線高架通50) ③ 2817

御婚礼お仕度
ピンパーム

Maxine

マキシン美容室

三宮神社前・T E L ③4917

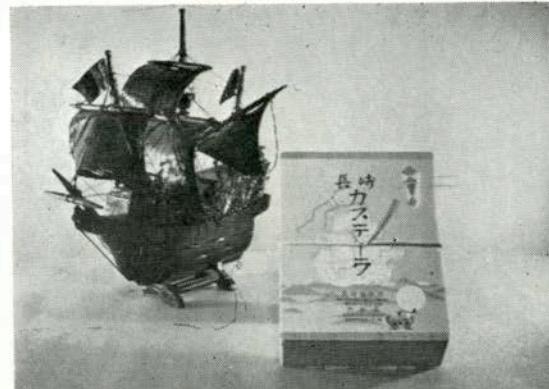
春来たりなば……



東京洋品の店

千 秋 廉

元町4丁目 ④ 6959



いつでも贈って喜ばれる
風味豊かなカステーラ!
<元町6丁目> 長崎堂本店
本店7-4402元町4-4130
直売店 神戸大丸・阪急

瞳に美しさを保つ
スポーツに
美容に
現代の科学が生んだ
コンタクトレンズ

国際コンタクトレンズ研究所
神戸市芦合区御幸通八丁目九ノ一(三宮駅前)
神戸国際会館内 TEL(22)8161・8361

世界の洋酒の店
ABAハチ
元町2丁目 TEL ③ 2798





YE AULD SHIRT SHOPPE



よろづ御襯衣仕立處
神戸シャツ

神戸大丸前 TEL ③2168

オリンピックにさきがけて
世界をかける三恵の紳士服

三恵洋服店

元町四 ④7290





ムーンライト

月に十軒もふえるバー。店の名にも困つてくるわけだが、新鮮さが失なわれない名前はムーンライト。感傷的でモダンともいえ、古き良き神戸を愛する人たちは、その二十五の歴史の魅力から脱け出せないようだ。

◆夜十時、煙と外国语と美女の体臭とムード音楽がたけなわとなる頃、客席の中ほどで眼を閉じてコックリしている和装の中年の女性——それがマダムである。ほんとうに眠いのだというような無邪氣な顔の下には、夜の財界に君臨する女王は姿を消している。

◆それにしても元氣だ。若いハンディ二十六のゴルフも健康法なら、休まずに店へ出るのも心の支えとなるのだろう。社長族にも国際人にも『安心して飲める雰囲気を』というネライは的を射ている。決して勘定は高過ぎない、

◆棚の洋酒のコルク栓人形は、去年のヨーロッパ土産。そして大阪生まれのご寮人さん気質は、包み紙一枚粗末にしないが、店の経営に限界を認めているあたり、事業家としてのカンはすばらしい。運勢はこんごも着実上伸とあるが、男性に生まれていたら……。

(ナン)

ショート・ショート①

かたきうち

陳松本舜宏臣



先日上京したとき、私は野球評論家佐伯一夫の家へ遊びに行つた。ちようどその日、彼のところへ『神戸っ子』から手紙が着いた。

神戸について『忘れられぬ思い出』がありましたら、それをテーマに四百字詰一枚ほどの玉稿を賜りたく云々……

佐伯はこの原稿依頼の手紙を読んで、

「とんでもねえ注文をしてきやがった！」

と、渋い顔をした。

私はハッとした。プロ野球随一の剛球投手だった佐伯が五年前に引退したのは、神戸で足の骨を折ったのが原因なのだ。彼が神戸に『忘れられぬ思い出』があるのはたしかだが、それは決して愉快な思い出であろうはずはない。

「ひでえ野郎だな、この『神戸っ子』って雑誌の編集

長は」と、佐伯は毒づいた。

「野郎じやないです」と私は言つた。「かわいいお嬢さんですよ」

「女か……」と呟いて佐伯は目をとした。五十嵐恭子さんは勉強家だが、惜しいことにプロ野球の事情にはうといのだろう。だから佐伯に神戸の思い出をきくという大失態を演じたのだ。とにかく私は彼女を弁護してやらねば、と思った。

「とてもいいお嬢さんでしてね……」

しかし佐伯は相変わらず渋い顔で、『女ってやつは……』と吐ききするように言つた。

「いやだつたら、断わればいいんですよ」と私は言つた。佐伯は曇く考へていたが、

「もう五年になる。昔の事だからおれもそんなにこだわらねえや。しかし原稿用紙二枚は短かすぎるな。話せ

長い物語なんだ。それにまだしさわりがあるし……」

それから佐伯は『骨折事件』の真相を話してくれた。

当時は『階段から落ちて大事な足の骨を折るなど、プロ選手にあるまじき不注意』と、世評は佐伯にきびしかつた。それに一言の弁明もしなかった佐伯は、えらい男である。真相をきいて、私は感心した。

さしさわりがある

つぎに佐伯からきいた話を書こう。さしさわりがあるので、登場人物はすべて仮名を用いた。これは佐伯のつけた条件である。

あの年のペナント・レースで、東都エレファンツのエース佐伯は、西都ジャイアックスの主砲、四番バッター山村に死球を与えた。

山村が倒れたとき、ジャイアックスの全員がとび出した。早くとび出した連中が山村を囲んで介抱し、おくれたやつらは、マウンドの佐伯めがけて突撃した。それよりさきに、エレファンツ軍の同僚が人垣をつくって佐伯を護衛した。あわや大乱闘と、いうところで、審判や両軍監督が双方を引きわけた。

山村は全治二カ月、そのシーズンは出場不可能となつた。

ところが佐伯も、この試合以後ひどいスランプに陥ってしまった。大阪で連続ホームランをかまされ、九州では五球なげてKOされたこともある。さんざんな態たらくだつた。

「おい佐伯」と監督は言つた。「山村のことを気にしてるんじやなからうなつ? あいつはもう元気になつたつていうぜ」

佐伯は自問自答してみた。気にしているのか?……

……やっぱり気になるんだ。

山村には四ホールマークを浴びせられている。まるでカモにされているようだつた。山村はいつもホーム・ベースにかぶさるようにして投球を待つ。そのときの不敵な面がまえ。佐伯にとつては一ぱんいやなバッターだった。

あのボールは手がすべつたのか? いや、あてるつもりじやなかつた。山村ほどの打者なら、とびのいて避ける

だらうと思つたのだ。……いや、内心、あたれば痛快だらうとは思つた! たしかにそう思つてゐた。

つまり、こういうことを考へてゐるうちに、彼の投球フォームが崩れたのである。

佐伯はスランプ脱出法を考えた。

山村にすまないという負い目が、スランプの最大原因と思ふ。その山村はもう元気だそだ。だから山村を見舞いに行つて、その元気な様子を見れば、安心できるだらう……

デッド・ボール直後、一度病院へ行つたが、それ以後一ヵ月半も会つてない。新婚の山村は神戸の義兄の家の二階に新居を構えている。場所は六甲だときいた。

大阪で雨のため試合が中止なつた日に、佐伯は山村を訪問することにした。

山村はカラリとした性格の男である。佐伯が訪ねて行つても、ひよつとすればどなりつけるかもしれないが、思ひ切りどなつたあと、まあ一杯やれとビールを出すのがオチであろう。佐伯が心配したのは山村夫人である。会つたことはないが、スポーツ雑誌のグラビヤで見るとほつそりした人形のよな美人で、いかにも神経質そうだった。彼女からうらみつらみをならべられるかもしれない、と佐伯は一応覚悟した。

「山村はいま風呂なんですが」その山村夫人は、『佐伯』の名をきいても動搖の色もみせずに応待した。

「すぐあがると思いますから、どうぞお掛けになつて」階段をあがつたところを応接間にしているが、そんなに広くない。すすめられた椅子は、うしろがすぐ階段になつていた。

山村夫人は両手をきちんと膝のうえにそろえて、テーブル越しに佐伯のまえに坐つた。

「山村君いかがですか? すっかりよくなられたそうです

が」と、佐伯はおそるおそるたずねた。

「ええ、おかげさまで」そう答えた山村夫人の目は、なにか虚ろな感じだつた。

「もう出場できるのでは?」と佐伯はたずねた。

山村夫人はゆっくり首を振つて、

「まだときどき発作が起りますから」

「発作？」と佐伯はききかえした。

「そうですの」山村夫人の言葉はさつきからすこしも抑揚がなかった。

「どんな発作ですか？」

「突然ね、兇暴性を帶びて、手あたり次第に殴りつけますのよ。でも、ほんの一分か二分でおさまります。発作中は、本人は意識がないようです。誰かれの見さかいもございません……あたしにだつて……」

山村夫人はかすかに眉をしかめた。

「それはそれは」山村はそれが自分のせいであることと思つて憂鬱になつた。

「しようちうなんですか、その発作は？」

「まえは週に二度。そのうち一度になりました。いまは十日に一度くらいでしようか。でも、ここ十日ばかりは発作がございませんのよ……お仕事の関係で、ほらバツツが沢山置いてあるでしょ。発作が起るとそのバツトをつかんで……」

「それは大へんだ」佐伯は言つた。「山村君に力まかせにぶん殴られたら命はない！」

「でもね」山村夫人は人形のような表情をかえすに言った。「発作の直前には前ぶれがございますの。……両手の手首を振つて、それから手足の屈伸運動。それがはじまるとき、あたし、どこかへかくれて、鎮まるまで待つのですよ」

公式戦の最中、突然発作をおこした山村が、バツトで捕手や審判を殴りつける場面を想像して、佐伯は寒気をおぼえた。

「それでね」と、山村夫人はつづけた。「体のほうはすっかりいいのでござりますよ。でも発作が完全になくならないうちは、試合に出せませんでしょ。お医者さまはあと二、三月で発作は消えるとおっしゃつて下さいましたが、まあ、来年のシーズンからですわね」

山村の不思議な発作。これも佐伯の責任だ。彼はやるせない気持になつた。

「もうそろそろあがつてくると存じますが」

山村夫人はそう言つて奥ゆかしい物腰で席をはずしたしばらくして山村が浴衣姿であらわれた。

「やあ、佐伯か。珍しいな。ところでこのごろ、ええとこないやないか。どないした？」

『野武士』の異名をとつてゐる山村は、いつもの豪快な笑みをうかべて大声で言つた。

「どうしてもだめだ。うまく行かん。完全なスランプだ」と佐伯は力なく答えた。

「もしもかしたら、おれのことを気にして、そいでスランプになつたんとちがうか？」

「いや……」

「もしそうやつたら、心配するな。おれ、なんとも思（おも）とらんよつてね。プロの選手やないか。死球の一個や二個、ピツチャーヤでも、バッターでも気にしどつたら飯（めし）くえんがな」

「ありがとう……」と言つて、佐伯はひよいと山村を見あげた。

山村はさかんに両手の手首を振つていた。

それから、手足の屈伸運動をはじめた。

壁にはバツトが三本立てかけてあつた。

これがはじまるとき山村夫人でさえ避難するのである！

山村の手がバツトのほうへ伸びかけた。

佐伯は「あツ」と言つて、椅子から立ちあがり、逃げ道をさがした。

正面には山村ががんばつてゐる。逃げ道はうしろの階段しかない。佐伯はあとさぎりした。……が、彼はあまりあわてすぎていた。で、足を踏みはずしたのだ。

ド、ド、ド、と物すごい音をたてて、大きな佐伯のからだが階下までころげおちた。

「どないしたんや？」山村は階段を駆けおりて、佐伯を抱きおこした。



佐伯は呻き声をあげた。足の骨が折れたと彼はとっさに感じた。大へんな痛みだ。

「どうやら、足が……骨が、やられたらしい……」と言つて、佐伯は喘いだ。

「とにかく医者へ行こう。すぐこのさきに、おれのかかりつけの病院があるんや。……ま、おれが負うて行つたる」

山村は佐伯を背負つた。いつのまにか山村夫人があらわれて、二人のために玄関の戸を開けた。

「一たい、どないしたんや？ 急に階段からころげ落ちたりして」

山村が背中の佐伯にたずねた。「だつて……きみ、手首を振つたり、屈伸運動をう……その……」「屈伸運動？ おれは風呂からあがつたら、かならず気のすむまで手首振つて、屈伸運動をするんや。お客様が来とつてもや。スポーツマンの心掛けやからなこいつは。そやけど、それがどないしたんや？」

「いや、なんでもない……あツ、いた……」

六甲山がすぐそこにせまっていた。雨はあがつていたが、風がつめたかった。六甲おろしというやつだろう。

「なあ、山村」痛みをこらえながら、佐伯は言つた。
「あのデツド・ボール、ほんとにうらんでいないだろうな？」

「あたりまえや！」山村は叱るやうに言つた。「なんや、いまごろそんなこと！」

「きみはうらんでいないだろが……」

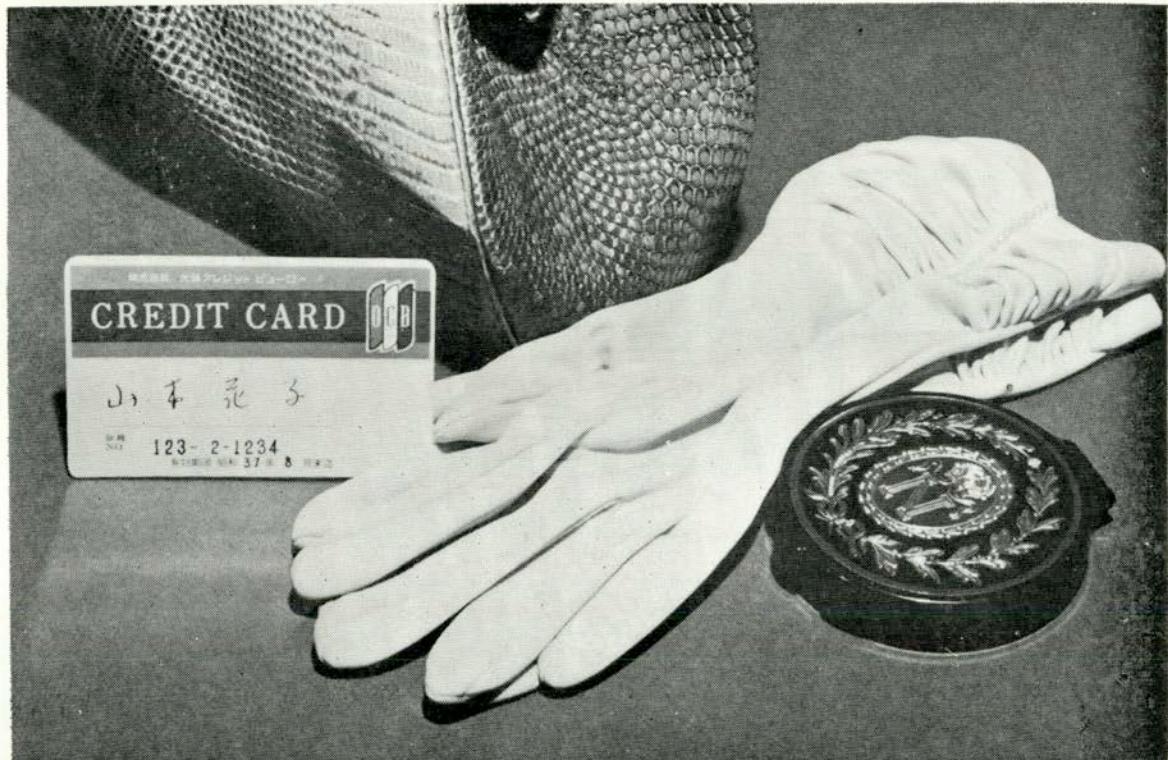
ここまで言つて、佐伯はあの言葉をのみこんでしまつた。

（――けど、きみの奥さんは、すいぶんぼくをうらんでるらしいなあ。）

さすがにこれは口にできなかつた。

以上が佐伯の神戸における『忘れられぬ思い出』である。話しありて彼はもういちど、「女てやつは……」と呟いた。

（作家）



スマートな近代生活にマッチした クレジットカード！



●すべてサイン一つでお支払はOKです
春のお買物に、ご旅行・ゴルフ・ドライブに
クレジットカードをご利用下さい

※詳細お問合せはOCB又は
三和銀行本支店へどうぞ

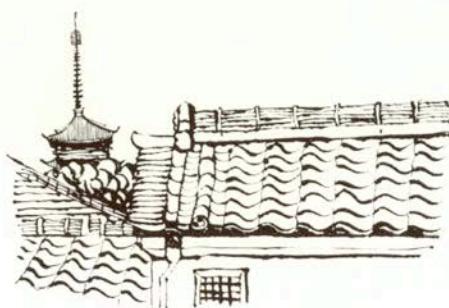
株式会社 大阪クレジットビューロー

大阪市南区順慶町通1-41 (電話大阪261-1777-1779)
神戸市兵庫区八幡通5-6 松竹ビル (電話神戸22-7340)

編集後記

春々。たのしい春の訪れがやつて参りました。月刊「神戸っ子」は、今月で満一才の誕生をむかえました。この一年間、「神戸っ子」はみなさま方の限りなき愛情と激励に支えられながらしあわせな歩ゆみを続けてることが出来ました。ほんとうにありがとうございました。これからもいつそうがんばります。みなさま、これまで同様、よろしくご指導ください

ますように。:



神戸と女性

上野純子さん(19才)は日本スケート界のホープとして東京オリンピックでの活躍が期待されている。スケート生活は今年で9年、その間に上野さんは全日本選手権に4連勝したのをはじめ関西選手権では7連勝するなどすばらしい成績を残している。またアメリカやヨーロッパで開かれた世界選手権大会にも日本代表選手として再々出場している。得意とするのはスクール。幼稚園から高校までを甲南で過ごし、現在は関西学院大2年在学中、健康で明かなるい素直なお嬢さんである。

撮影 杉尾友士郎

・今月から新らしく登場した「神戸を創るトップ・グループ」・神戸には道化座をはじめ、音楽、スポーツなど各方面で輝やかしい伝統と歴史をもつたグループなり団体がありまます。うれしいことです。そして神戸のためにも今後大いに活躍していただきたいのです。そんな気持から企画しました。神戸っ子のみなさんの声援を期待しています。

・また新らしい連載読みものとして司馬遼太郎氏の「問わざ語り」と陳舜臣氏の「ショート・ショート」

☆月刊「神戸っ子」を毎月御購読下さいます方、神戸を離れているお友達にプレゼントなさりたい方は編集室宛にお申込下さい。6ヶ月分・500円(送料共)

☆誌上紹介の各神戸の銘店にはお客様へのサービス品として「神戸っ子」がおかれています。左記の本屋さんでどうぞ。

文洋堂・国際会館1階
漢文堂・元町3丁目
海文堂・京町筋
流泉書房・大丸前角
・セントラル

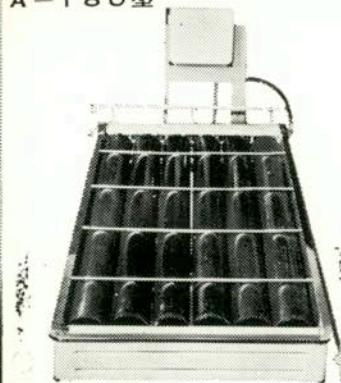
月刊「神戸っ子」案内

トが始まりました。ご愛読下さい・座談会「神戸ときもの」一きものをお召しになられる方が多いシーザンをむかえましたので。:。殿方のきもの姿はなまめかしく、初々しく見えるとかー、殿方の間にきものブームが起りそうですね(おことわり)毎号、ご好評いただいてます阪本勝氏の「れんさい」随想は、同氏のお仕事の都合で今月号に限り休載させていただきます。

(I)

* 太陽熱で
お湯をわかそう！

A-180型



太陽熱を利用！
真夏で70℃…冬でも35℃…



セキスイの自動給湯設備
セキスイ

ヒーター

A-180型 / 28,000円
(工事費用は別です)

●手軽でべんりなホーム・ボイラー

おフロに…お洗たくに…燃料費がグッと安くなります

プラスチックの積水化学

発行に色々と
お世話をいたいたたの方々

山若森百吉松古福中直永田田道場白阪古後久小小木嘉川金大小岡岡牛権曾
曾
口移崎崎地井川富西木井中村川崎川本林藤保林礪下納西井淵根部崎尾並木
秦 了辰義高虎芳 太連健李勝二 喜未甚芳良 正 元ツ真伊真吉正重
太 都
弘兼三雄二男夫美勝那七郎介二郎渥勝榮二郎夫平繁治英彦ム造子一湖一雄

- 本誌広告により広告主へ直接御注文やお問合せの際は「神戸っ子」広告による旨お書き添え下さい。
- 広告主の住所不明な時は「神戸っ子」編集室にお問合せ下さい。お取次いたします。
- 「神戸っ子」に広告掲載御希望の向うは「神戸っ子」営業部宛御照会下さい。「神戸っ子」編集室

Hino コンテッサ

神戸日野自動車

TEL. ④5771～5



お嬢さま 若奥さまの

ヘアー・スタイルの目立つ季節になりました

ヘアーペットは手軽にお求めいただけるお
値段です。ご家庭でヘアースタイルが自
由に出来るヘアーペットをご愛用下さい。

M H - 1 型

正価 6,800円



ヘアーペット

ヘアーペットのお求めはお近
くの行き届いたアフターサー
ビスのナショナル連盟店で

